

県南部における代表的な円墳
丸山古墳



指定区分	国指定史跡
読みかた	まるやまこふん
所在地	備前市畠田・福田・香登本
指定年月日	昭和32年10月11日
解説	吉井川東岸に面した標高約61mの小丘陵部にある円墳。直径約60m。竪穴式石室には特殊な彫刻文様を配した家形石棺がある。30数面の鏡、器台、巨大な管玉、勾玉、鉄製品など多数の副葬品が発見された。
アクセス方法	JR香登駅から徒歩25分
公開状況	自由
設備	
備考	出土品のほとんどは東京国立博物館に保管されていますが、一部は東片上の備前市歴史民俗資料館にも保管されています。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	丸山古墳
よみかた	まるやまこふん
しょざいち (所在地)	備前市畠田・福田・香登本
していつひ (指定した日)	昭和32年10月11日
せつめい	高(たか)さおよそ60メートルの円(えん)の形(かたち)をした古墳(こふん)です。竪穴式(たてあなしき)の石室(せきしつ)には石でできたふたが屋根(やね)の形をした棺桶(かんおけ)があります。